

第2章

関市の現況

1 人口・世帯数

(1) 市全体の人口・世帯数

人口については、平成13年(2001年)に比べ平成16年(2004年)で1,292人増（1.02倍）となっています。しかし、合併後は若干の増加にとどまっており、平成18年(2006年)では平成17年(2005年)に比べ、168人の増加となっています。

世帯数については、平成13年(2001年)に比べ平成16年(2004年)で1,463世帯増（1.06倍）となっています。また、合併後は、平成17年(2005年)に比べ平成18年(2006年)で599世帯増（1.02倍）となっており、人口の増加に比べて高い伸びとなっています。

人口・世帯数の推移

(単位：人、世帯)

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
人口	76,164	76,634	77,021	77,456	94,823	94,991
男	37,334	37,524	37,715	37,908	46,263	46,324
女	38,830	39,110	39,306	39,548	48,560	48,667
世帯数	24,697	25,229	25,684	26,160	32,010	32,609

各年10月1日現在
平成17年（2005年）2月7日に関市・武儀郡町村合併

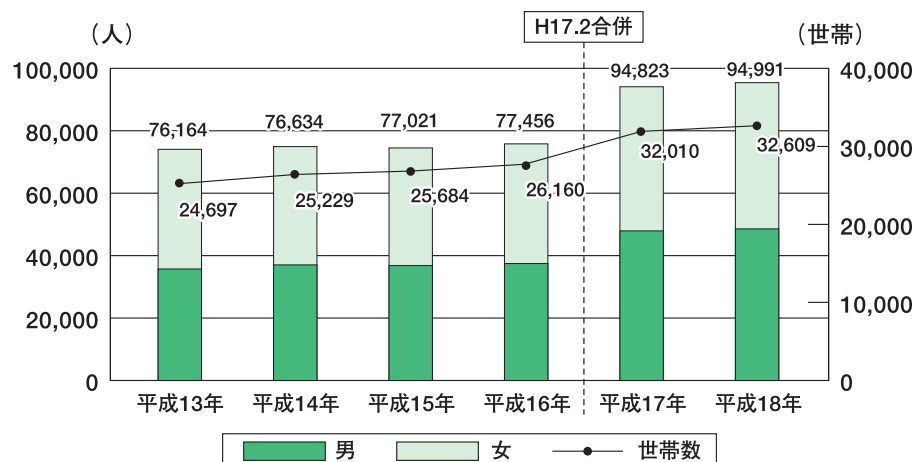


図 人口・世帯数の推移

(2) 年齢別の人口

年齢別の人口構成について、市町村合併後の推移をみると、以下のとおりです。

半数以上が40歳以上であり、平成18年(2006年)10月現在で50,680人、53.3%となっています。また、定年後の世代である60歳以上は、24,712人、26.0%となっています。

一方、社会人としての若年世代である20～39歳については、25,418人26.8%となっています。

市町村合併後の年齢別比率の推移をみると、20～39歳、40～59歳は横ばいで推移していますが、60歳以上は増加、20歳未満は減少しており、少子高齢化が進行しています。

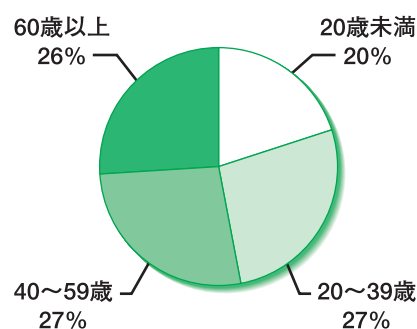


図 年齢別人口構成

年齢別人口

(単位：人)

	平成17年2月		平成17年10月		平成18年10月	
20歳未満	19,329	20.4%	19,077	20.1%	18,893	19.9%
20～39歳	25,295	26.7%	25,133	26.5%	25,418	26.8%
40～59歳	26,059	27.5%	26,151	27.6%	25,968	27.3%
60歳以上	24,228	25.5%	24,462	25.8%	24,712	26.0%
合計	94,911	100.0%	94,823	100.0%	94,991	100.0%

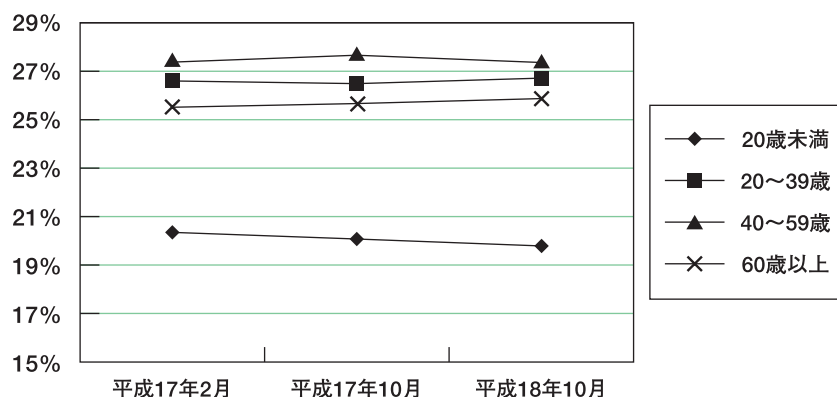


図 年齢別人口比率の推移

(3) 地域別の人口（旧市町村）

平成18年(2006年)10月の地域別の人口の割合については、関地域が最も高く81.9%（77,810人）を占めています。また、洞戸地域は2.4%（2,278人）、板取地域が1.8%（1,680人）、武芸川地域が7.1%（6,774人）、武儀地域が4.4%（4,159人）、上之保地域が2.4%（2,290人）となっています。

また、地域別の人口の推移については、平成18年(2006年)10月では平成17年(2005年)2月に比べ、関地域で419人増加していますが、その他の地域ではすべて減少しており、洞戸地域で84人減、板取地域で93人減、武芸川地域で54人減、武儀地域で2人減、上之保地域で106人減となっています。

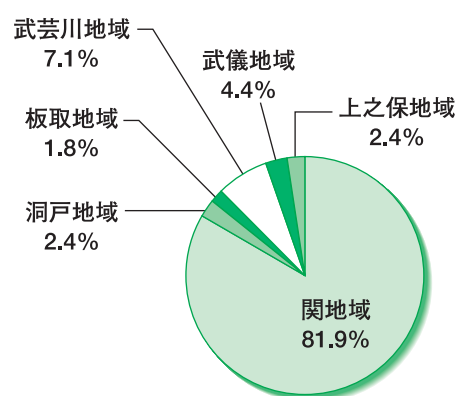


図 地域別人口の割合（平成18年10月）

地域別人口の推移

（単位：人）

	平成17年2月	平成17年10月	平成18年10月	平成17年2月からの増減
関地域	77,391	77,390	77,810	419
洞戸地域	2,362	2,327	2,278	－84
板取地域	1,773	1,753	1,680	－93
武芸川地域	6,828	6,814	6,774	－54
武儀地域	4,161	4,170	4,159	－2
上之保地域	2,396	2,369	2,290	－106
合計	94,911	94,823	94,991	80

2 生涯学習の現状

関市の主な生涯学習施設としては、市全体の基幹的な施設として、わかくさ・プラザ（学習情報館、総合体育館、総合福祉会館）があります。また、地区の基幹的な施設として地区公民館、生涯学習センター、ふれあいセンターなどがあります。

関地域（旧関市）にあるふれあいセンターでは、地域住民による「ふれあいのまちづくり推進委員会」を組織し自主運営がなされています。

旧町村地域にある生涯学習センターは、合併前までは中央公民館としての位置づけの施設であり、現在は、各地域教育事務所が管理運営を行っています。

学習の提供については、各担当部署の職員や市民による出前講座、わかくさ・プラザや生涯学習センター、ふれあいセンターで行われている公民館講座のほか、庁内の各課などによる講座や見学会などにより、様々な学習の提供を行っています。

学習者の発表の場としては、SEKIいきいきフェスタを年1回開催し、多くの市民の鑑賞や体験を通して、評価を受けることによって、学習の喜びや生きがいを感じるとともに、新しい学習社会の開拓をねらうものとして行っています。

また、旧町村地域における自主サークルの活動については、合併に伴って公民館活動から独立して自主サークルに移行した団体も多く、組織運営や過疎化などによる参加メンバーの減少、参加者の高齢化など様々な問題を抱えています。

(1) 生涯学習施設の現状

生涯学習は、様々な場所で行われています。その中で、関市の主な生涯学習施設としては、わかくさ・プラザ（学習情報館、総合体育館、総合福祉会館）、地区公民館、生涯学習センター、ふれあいセンターなどがあります。

①わかくさ・プラザ

わかくさ・プラザは、関市の生涯学習拠点施設であり、学習情報館、総合体育館、総合福祉会館の3つの施設を含んでいます。わかくさ・プラザの施設概要は以下のとおりです。

わかくさ・プラザの概要

施設名	施設概要
学習情報館	図書館 ・蔵書冊数：22万447冊（平成18年3月現在） （開架図書：13万4,897冊） 中央公民館 ・多目的ホール、音楽室、料理実習室、創作実習室 ギャラリー、研修室（3室）、和室 まなびセンター ・コスモホール（プラネタリウム）、パソコン研修室 屋上天体観測広場、教材開発室、文献資料室 特別陳列室 など
総合体育館	メインアリーナ（37m×55m） サブアリーナ（34m×21m） 武道場、温水プール、トレーニングルーム 会議室（2室）、和室（2室） など
総合福祉会館	障害者福祉センター、児童・母子福祉センター 在宅福祉サービスセンター、リハビリセンター 能力活用センター、交流センター、老人福祉センター 会議室（4室）、和室（3室）、創作活動室 など

わかくさ・プラザでは、SEKIいきいきフェスタや関市生涯学習振興大会など生涯学習活動の発表の場としてのイベントを開催しています。

学習情報館は、過去3年間の平均で年間381千人、総合体育館は年間155千人、総合福祉会館は年間146千人の利用者がいます。

また、平成18年(2006年)10月には、延利用者数が500万人を達成しました。

わかくさ・プラザの利用者数 (単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
学習情報館	382,694	389,634	370,671
総合体育館	155,543	146,091	163,037
総合福祉会館	143,005	146,970	147,427
合計	681,242	682,695	681,135

また、学習情報館は、中央公民館、図書館、まなびセンターの3つの施設によって構成されています。

学習情報館の中では、図書館の利用者（入館者）が多く、過去3年間の平均で年間283千人の利用者がいます。また、中央公民館については年間77千人、まなびセンターでは年間21千人の利用者がいます。

学習情報館の利用者数 (単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
中央公民館	71,939	79,695	79,243
図書館	288,455	289,285	271,888
まなびセンター	22,300	20,654	19,540
合計	382,694	389,634	370,671

②生涯学習センター

生涯学習センターは、旧町村ごとに各1カ所配置されています。

生涯学習センターの施設概要は以下のとおりです。

生涯学習センターの概要

施設名	施設概要
武芸川生涯学習センター	1階 ホール、図書館分館 2階 会議室、パソコン室
洞戸生涯学習センター	集会室、和室、調理室、図書館分室
板取生涯学習センター	1階 会議室、パソコン室、図書室分室 2階 ホール
武儀生涯学習センター	1階 アリーナ、多目的ホール、会議室 創作活動室、マルチメディアセンター、和室、 図書館分館 2階 ランニングコース
上之保生涯学習センター	1階 多目的ホール、会議室、調理実習室 2階 会議室、図書館分室

利用者数は、施設の規模などにより、武儀生涯学習センターの利用者が多く、30,000人を超える年間利用者がいます。また、同様に上之保生涯学習センターについても、10,000人を超える年間利用者がいます。

各生涯学習センターの利用者数

(単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
武芸川生涯学習センター	7,565	7,365	7,542
洞戸生涯学習センター	3,060	3,504	7,420
板取生涯学習センター	7,500	7,320	7,184
武儀生涯学習センター	50,559	36,193	34,201
上之保生涯学習センター	12,055	13,622	12,762
合計	80,739	68,004	69,109

③ふれあいセンター

ふれあいセンターは、関地域（旧関市）に6カ所配置されています。

ふれあいセンターは、各地域の「ふれあいのまちづくり推進委員会」によって管理運営されています。

ふれあいセンターの概要

施設名	施設概要
倉知ふれあいセンター	1階 会議室・調理室・事務室 2階 和室・大会議室（ホール）
千疋ふれあいセンター	1階 会議室・料理実習室・談話室・児童室・事務室 2階 和室・大会議室（ホール）
田原ふれあいセンター	1階 会議室・談話室・図書室・児童室・事務室 2階 和室・調理室・大会議室（ホール）
旭ヶ丘ふれあいセンター	1階 会議室・談話室・図書室・児童室・事務室 2階 和室・調理室・大会議室（ホール）
桜ヶ丘ふれあいセンター	1階 会議室・談話室・図書室・児童室・事務室 2階 和室・調理室・大会議室（ホール）
下有知ふれあいセンター	大会議室（ホール）・調理室・児童室・和室・事務室

(2) 講座の現状

関市では、各担当部署の職員や市民による出前講座、わかくさ・プラザや生涯学習センター、ふれあいセンターなどで行われている公民館講座などにより、様々な学習の提供を行っています。

①出前講座

出前講座の講座回数については、平成12年度(2000年度)までは増加していましたが、平成14年度(2002年度)以降は隔年で増減を繰り返し、平成17年度(2005年)では125回となっています。

職員による出前講座数については、平成11年度(1999年度)までは増加していましたが、その後はやや横ばいで推移し、平成14年度(2002年度)の116回が最も多くなっています。ただし、平成14年度(2002年度)以降は隔年で増減を繰り返しています。

市民による出前講座数については、平成12年度(2000年度)の109回が最も多くなっています。ただし、平成14年度(2002年度)以降は40回前後と横ばいで推移しています。

出前講座の受講者数については、平成11年度(1999年度)までは大きく増加し、10,946人となっています。ただし、平成14年度(2002年度)以降は講座回数に合わせて増減しています。

出前講座 講座回数と受講者数の推移 (単位：回、人)

年 度	講座回数	講座の内訳		受講者数
		職員	市民	
平成10年度	98	77	21	6,255
平成11年度	171	102	69	10,946
平成12年度	210	101	109	9,518
平成13年度	165	91	74	6,814
平成14年度	155	116	39	7,406
平成15年度	140	99	41	7,134
平成16年度	150	113	37	8,604
平成17年度	125	80	45	7,665

※平成6年(1994年)12月より開講

※平成8年(1996年)4月から、幼稚園・小中学校・各種学校・大学にも出前を開始

※平成9年(1997年)5月から市民による出前講座を実施

出前講座の登録講座数については、平成14年度(2002年度)までは増加し、132講座となっています。その後、若干減少しており平成17年度(2005年度)では125講座となっています。

職員による出前講座数については、平成11年度(1999年度)から平成14年度(2002年度)までは69人と横ばいで推移していましたが、その後は減少傾向にあり、平成17年度(2005年度)で57人となっています。

市民による出前講座については、職員による出前講座とは違った傾向になっており、平成11年度(1999年度)以降増加傾向になっており、平成17年度(2005年度)では68人となっています。

出前講座 登録数の推移

(単位：講座、人)

年 度	講座数	講座の内訳	
		職員	市民
平成11年度	111	69	42
平成12年度	124	69	55
平成13年度	126	69	57
平成14年度	132	69	63
平成15年度	124	61	63
平成16年度	117	58	59
平成17年度	125	57	68

②公民館講座

公民館講座については、成人学校、成人大学、さわやか学級（高齢者学級）などの講座を開催しており、平成17年度(2005年度)では、「教養の向上」を目的とした講座が28回（参加人数：562人）、「家庭教育・家庭生活」を目的とした講座が18回（参加人数：717人）となっています。

「体育・レクリエーション」、「職業知識・技術の向上」、「市民意識・社会連帯意識」を目的とした講座などについては、合併以前は開催されていた市町村がありましたが、平成16年度(2004年度)以降は実施されていません。

公民館が開催する講座

(単位：回、人)

年度			平成15年						平成16年	平成17年	
地域			関市	洞戸村	板取村	武芸川町	武儀町	上之保村	合計	関市	関市
教養の向上	開催回数		20	1		6		19	46	27	28
	参加者数	男	341			16		144	501	70	92
		女	780	15		74		243	1,112	454	470
		計	1,121	15	0	90	0	387	1,613	524	562
レクリエーション 体育・	開催回数		1			3		2	6		
	参加者数	男				8		37	45		
		女	11			41		18	70		
		計	11	0	0	49	0	55	115	0	0
家庭教育・家庭生活	開催回数		6			1		2	9	13	18
	参加者数	男	38						38	273	120
		女	107			16		28	151	636	597
		計	145	0	0	16	0	28	189	909	717
職業知識・ 技術の向上	開催回数		2			2			4		
	参加者数	男	5			8			13		
		女	22			30			52		
		計	27	0	0	38	0	0	65	0	0
市民意識・ 社会連帯意識	開催回数		1					2	3		
	参加者数	男	2					42	44		
		女	11					23	34		
		計	13	0	0	0	0	65	78	0	0
その他	開催回数					1			1		
	参加者数	男				4			4		
		女				6			6		
		計	0	0	0	10	0	0	10	0	0
合計	開催回数		30	1	0	13	0	25	69	40	46
	参加者数	男	386	0	0	36	0	223	645	343	212
		女	931	15	0	167	0	312	1,425	1,090	1,067
		計	1,317	15	0	203	0	535	2,070	1,433	1,279

※公民館講座として行った講座のみを計上しているため、平成15年の板取村、武儀町については計上されていません。

第2章 関市の現況

2 生涯学習の現状

公民館が開催する成人学校講座の内容（平成17年度）

講 座 名	開講場所
ダンススポーツ	わかくさ・プラザ (中央公民館)
幻想的なガラス芸術 ステンドグラス	
<みんなで合唱で> 感動の歌・思い出の歌	
葉脈アートの魅力	
リフレッシュ健康体操	
男の料理	
おしゃれなパン教室	
初心者 古文書講座	
いきいき足もみ フットセラピー	西部地区公民館
ハンギングフラワーとガーデン小物	東部地区公民館
いきいき足もみ フットセラピー	武芸川生涯学習センター
園芸教室	
関市の文化遺産を訪ねて	
はじめてのトールペイント	洞戸生涯学習センター
どなたでも家でやれますホーム・ヨーガ	
寄せ植え教室（初心者）	
エド君と楽しい英会話	板取生涯学習センター
いきいき笑顔からだ元気教室（健康体操）	
俳句の基本講座	
ペン習字	武儀生涯学習センター
ヨガ	
プリザーブドフラワー	
絵手紙	上之保生涯学習センター
手軽にできる木彫	旭ヶ丘ふれあいセンター
絵てがみ	倉知ふれあいセンター
フラダンス（初級）	桜ヶ丘ふれあいセンター
はじめてのパン教室	下有知ふれあいセンター
<和紙のぬくもり> あかりアート	千疋ふれあいセンター
歌謡吟	田原ふれあいセンター

(2) ふれあいセンターでの活動状況

旧関市には6館のふれあいセンターがあります。これらのふれあいセンターは、各地域の「ふれあいのまちづくり推進委員会」が管理運営しています。この推進委員会が実施している事業は以下のとおりです。

ふれあいセンターで実施している事業（平成17年度）

場所	事業名	内容・対象等
倉知ふれあいセンター	倉知ふれあい グラウンドゴルフ大会	
	敬老会	
	囲碁大会	
	文化祭	作品展、芸能大会、バザー
	健康ウォーキング	
	国際交流会	中国人・留守家庭児童教室
	男性料理教室	
	子育て支援・親子サロン	親子遊び、子育て相談
	パターゴルフ大会	
千疋ふれあいセンター	防災研修会	
	初心者パソコン講座	
	男の料理教室	
	親子自然探索会	千疋地域の自然 対象：小中学生
	親子お菓子づくり	対象：小学生低学年
	千疋ふれあい文化祭	
	庭木剪定実習	
	新春 囲碁・カルタとり大会	
	千疋ふれあい芸能祭	
田原ふれあいセンター	花苗配布	
	福祉学習会	地域福祉計画 解説
	チャレンジ！ 七夕まつり	
	歴史文化講座	田原の伝承昔ばなし
	ウォーキング大会	
	文化祭 作品展	
	チャレンジ！ ウェルカム・ ニューイヤー	
	文化祭 芸能大会	
旭ヶ丘ふれあいセンター	ウォーキング	
	親子教室	親子壁掛づくり
	親子教室	親子コロッケづくり
	夏の夕べ	黒屋獅子舞の夕べ
	ふれあいまつり	作品展、芸能大会
	迎春準備	もち花づくり、しめ縄づくり

ふれあいセンターで実施している事業（平成17年度）

場所	事業名	目的・内容等
桜ヶ丘ふれあいセンター	夏祭り	
	敬老会	
	文化祭	作品展、芸能大会、体験学習
	健康づくり	ふれあいウォーキング
	学習活動	子どもフラワーデザインスクール
下有知ふれあいセンター	エアロビック教室	
	ふれあい夏祭り	
	ふれあい文化祭	作品展、芸能発表、実技体験
	三世代ふれあい広場	グラウンドゴルフ
	ウォーキング大会	
	男性料理教室	
	成人学校	パン教室（関市 公民館主催事業）

（3）ボランティア・NPOの現状

①ボランティア団体の現状

市内には、様々なボランティアが個人やグループなどで活動しています。活動分野についても、まちづくり全般に関する活動や福祉に関する活動、国際交流に関する活動、生涯学習に関する活動など様々です。

ボランティアセンター（関市社会福祉協議会内に設置）に登録しているボランティア団体数・活動人数をみると、平成12年度（2000年度）以降増加傾向にあり、合併前の平成16年度（2004年度）では平成12年度（2000年度）に比べ、12団体（539人）の増加となっています。

また、合併後の平成17年度（2005年度）では93団体（4,302人）のボランティアが活動しています。

ボランティア団体数・活動人数

（単位：団体、人）

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
団体数	47	45	52	51	59	93
活動人数	1,932	1,884	2,007	2,138	2,471	4,302

（関市社会福祉協議会）

②NPO団体の現状

ボランティアとNPOは、自発的に社会に貢献するという点においては同じですが、ボランティアは基本的に「個人」を表します。それに対して、NPOは「組織」を表します。NPOの中で法人格を取得したものを、特定非営利活動法人（NPO法人）といいます。市民の生活ニーズが多様化する中で、NPOの果たす役割は大きくなっています。

市内のNPO法人をみると、17のNPO法人が存在しています。団体の名称、所在地、主な活動分野については下表のとおりです。

平成18年（2006年）12月1日現在

番号	法 人 名	所 在 地	主な活動分野
1	ぎふ福祉サービス利用者センター	関市堅切北40番地	福祉の推進
2	キッズアカデミーせき園	関市東本郷通6丁目1番5号	福祉の推進
3	だいこんの花	関市西神野605番地	福祉の推進
4	サポートセンター るはーふ	関市鋳物師屋6丁目2番11号	福祉の推進
5	キウイスポーツクラブ	関市洞戸小坂351番地	学術・文化・芸術・スポーツの推進
6	かわせみ	関市旭ヶ丘1丁目2番19号	福祉の推進
7	Waterscap	関市一本木町50番地	環境の保全
8	板取スイス村協会	関市板取1643番地17	国際協力・国際交流
9	上之保さつき交流協会	関市上之保15119番地1	国際協力・国際交流
10	自然、生活共生会	関市武芸川町谷口2786番地	環境の保全
11	洞戸村ふるさと塾	関市洞戸菅谷198番地2	子どもの健全育成
12	フォレストスポーツコミュニティ	関市春里町2丁目2番地30号 コーポ春里101号室	子どもの健全育成
13	ギンブナの会	関市小屋名143番地	環境の保全
14	武芸川福祉サービスセンター愛	関市武芸川町谷口834番地	保健・医療・福祉
15	ふれあいマーケット楽市楽座	関市山田1025番地3	消費者保護
16	日本平成村	関市下之保2532番地	保健・医療・福祉
17	保育サポーターグループくれないどる	関市山田1540番地7	子どもの健全育成

出典）岐阜県ホームページ

3 アンケート調査からの取り組みの方向性

関市における生涯学習の満足度と重要度の相関関係から重点的に取り組むべき事項を分析するため、重要度が高いが満足度が低い項目に着眼すると、職業能力を身につける学習、あるいは家庭教育の向上につながる学習、地域の教育力の向上につながる学習の提供、身近なところでの学習機会、また、講演会などにおける託児サービスが挙げられ、これらの項目については、重点的な改善が求められます。

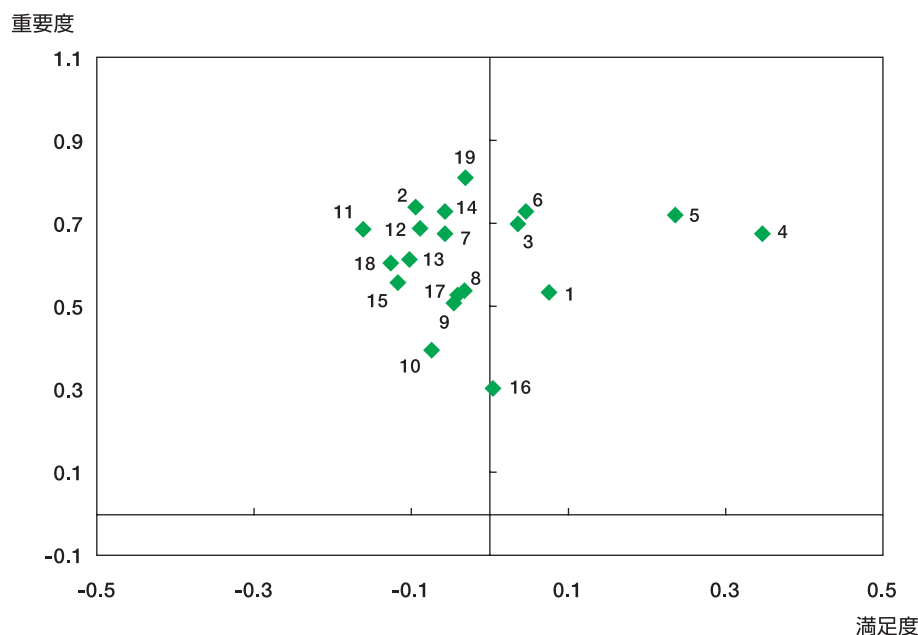


図 満足度と重要度によるポートフォリオ分析

※凡例

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 講座、講演会などの種類や数 | 2. 身近なところでの学習機会 |
| 3. 公民センターや集会所などの身近な学習施設 | 4. わかくさ・プラザ、文化会館などの中核的な施設 |
| 5. 体育館、グラウンドなどのスポーツ施設 | 6. ボランティア活動の支援 |
| 7. 指導者・リーダーの育成 | 8. 各種サークル・グループの育成 |
| 9. 生涯学習活動と学校とのかわり | 10. 大学における公開講座、社会人の受け入れ |
| 11. 職業能力を身につける学習の提供 | 12. 家庭教育の向上につながる学習の提供 |
| 13. 地域の教育力の向上につながる学習の提供 | 14. 生涯学習に関する情報提供 |
| 15. 生涯学習に関する相談体制 | 16. 学んだことを発表できる機会 |
| 17. 学んだことを活かせる機会 | 18. 講演会などにおける託児サービス |
| 19. 講演会などにおける障害者への配慮 | |